

Q001 ○ × | A火災

普通火災は、木材・紙・繊維などが燃える火災をいう。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：普通火災はA火災として扱われる。

要点：A火災

Q002 ○ × | B火災

油火災は、木材や紙だけが燃える火災をいう。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。油火災は、引火性液体や油脂類などが燃える火災をいう。

要点：B火災

Q003 4択 | C火災

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。

1. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
2. 電気火災は、油脂類だけが燃える火災をいう。
3. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
4. 電気火災は、通電中の電気設備・電気器具などに関係する火災をいう。

答え・解説

正答：4. 電気火災は、通電中の電気設備・電気器具などに関係する火災をいう。

解説：電気火災はC火災として扱われる。

要点：C火災

Q004 ○ × | ABC粉末

ABC粉末消火器は、普通火災・油火災・電気火災に広く適応する。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：ABC粉末はA・B・C火災に対応する代表的な薬剤。

要点：ABC粉末

Q005 ○ × | 消火薬剤

ABC粉末消火薬剤の主成分は、常に純水だけである。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。ABC粉末消火薬剤には、リン酸アンモニウム系の薬剤が用いられる。

要点：消火薬剤

Q006 4択 | 消火薬剤

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認6）

1. BC粉末消火薬剤は、油火災・電気火災への適応を中心に考える。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
4. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。

答え・解説

正答：1. BC粉末消火薬剤は、油火災・電気火災への適応を中心に考える。

解説：BC粉末はB・C火災への適応が中心。

要点：消火薬剤

Q007 ○× | CO2

二酸化炭素消火器は、主に窒息作用により消火する。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：二酸化炭素は酸素濃度を下げる窒息作用が中心。

要点：CO2

Q008 ○× | 水系

水系消火薬剤は、油面を必ず安全に覆うため油火災専用である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。水系消火薬剤は、主に冷却作用により普通火災に有効である。

要点：水系

Q009 4択 | 泡

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認9）

1. 泡消火薬剤は、炎を検知して受信機へ火災信号を送る薬剤である。
2. 泡消火薬剤は、燃焼面を覆って空気を遮断する窒息効果を期待できる。
3. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
4. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。

答え・解説

正答：2. 泡消火薬剤は、燃焼面を覆って空気を遮断する窒息効果を期待できる。

解説：泡は燃焼面を覆い、可燃性蒸気の発生を抑える。

要点：泡

Q010 ○× | 薬剤選定

消火薬剤の選定では、適応火災、設置場所、使用後の影響などを考慮する。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：薬剤ごとに適応火災や特徴が異なる。

要点：薬剤選定

Q011 ○ × | 粉末

粉末消火薬剤は、可燃物を発熱させて燃焼を促進する薬剤である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。粉末消火薬剤は、火災の化学反応を抑制する効果を期待できる。

要点：粉末

Q012 4択 | 加圧方式

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認12）

1. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
2. 消火器の加圧方式には、蓄圧式と加圧式がある。
3. 消火器の加圧方式は、自然落下式だけである。
4. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。

答え・解説

正答：2. 消火器の加圧方式には、蓄圧式と加圧式がある。

解説：代表的な方式として蓄圧式と加圧式を区別する。

要点：加圧方式

Q013 ○ × | A火災

普通火災は、木材・紙・繊維などが燃える火災をいう。【13】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：普通火災はA火災として扱われる。

要点：A火災

Q014 ○ × | B火災

油火災は、木材や紙だけが燃える火災をいう。【14】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。油火災は、引火性液体や油脂類などが燃える火災をいう。

要点：B火災

Q015 4択 | C火災

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認15）

1. 電気火災は、通電中の電気設備・電気器具などに関係する火災をいう。
2. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
3. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
4. 電気火災は、油脂類だけが燃える火災をいう。

答え・解説

正答：1. 電気火災は、通電中の電気設備・電気器具などに関係する火災をいう。

解説：電気火災はC火災として扱われる。

要点：C火災

Q016 ○ × | ABC粉末

ABC粉末消火器は、普通火災・油火災・電気火災に広く適応する。【16】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：ABC粉末はA・B・C火災に対応する代表的な薬剤。

要点：ABC粉末

Q017 ○ × | 消火薬剤

ABC粉末消火薬剤の主成分は、常に純水だけである。【17】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。ABC粉末消火薬剤には、リン酸アンモニウム系の薬剤が用いられる。

要点：消火薬剤

Q018 4択 | 消火薬剤

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認18）

1. BC粉末消火薬剤は、普通火災だけに適応し油火災には使えない。
2. BC粉末消火薬剤は、油火災・電気火災への適応を中心に考える。
3. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
4. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。

答え・解説

正答：2. BC粉末消火薬剤は、油火災・電気火災への適応を中心に考える。

解説：BC粉末はB・C火災への適応が中心。

要点：消火薬剤

Q019 ○ × | CO2

二酸化炭素消火器は、主に窒息作用により消火する。【19】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：二酸化炭素は酸素濃度を下げる窒息作用が中心。

要点：CO2

Q020 ○ × | 水系

水系消火薬剤は、油面を必ず安全に覆うため油火災専用である。【20】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。水系消火薬剤は、主に冷却作用により普通火災に有効である。

要点：水系

Q021 4択 | 泡

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認21）

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
4. 泡消火薬剤は、燃焼面を覆って空気を遮断する窒息効果を期待できる。

答え・解説

正答：4. 泡消火薬剤は、燃焼面を覆って空気を遮断する窒息効果を期待できる。

解説：泡は燃焼面を覆い、可燃性蒸気の発生を抑える。

要点：泡

Q022 ○× | 薬剤選定

消火薬剤の選定では、適応火災、設置場所、使用後の影響などを考慮する。
【22】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：薬剤ごとに適応火災や特徴が異なる。

要点：薬剤選定

Q023 ○× | 粉末

粉末消火薬剤は、可燃物を発熱させて燃焼を促進する薬剤である。【23】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。粉末消火薬剤は、火災の化学反応を抑制する効果を期待できる。

要点：粉末

Q024 4択 | 加圧方式

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認24）

1. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 消火器の加圧方式には、蓄圧式と加圧式がある。
4. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。

答え・解説

正答：3. 消火器の加圧方式には、蓄圧式と加圧式がある。

解説：代表的な方式として蓄圧式と加圧式を区別する。

要点：加圧方式

Q025 ○× | A火災

普通火災は、木材・紙・繊維などが燃える火災をいう。【25】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：普通火災はA火災として扱われる。

要点：A火災

Q026 ○ × | B火災

油火災は、木材や紙だけが燃える火災をいう。【26】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。油火災は、引火性液体や油脂類などが燃える火災をいう。

要点：B火災

Q027 4択 | C火災

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認27）

1. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
2. 電気火災は、通電中の電気設備・電気器具などに関係する火災をいう。
3. 電気火災は、油脂類だけが燃える火災をいう。
4. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。

答え・解説

正答：2. 電気火災は、通電中の電気設備・電気器具などに関係する火災をいう。

解説：電気火災はC火災として扱われる。

要点：C火災

Q028 ○ × | ABC粉末

ABC粉末消火器は、普通火災・油火災・電気火災に広く適応する。【28】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：ABC粉末はA・B・C火災に対応する代表的な薬剤。

要点：ABC粉末

Q029 ○ × | 消火薬剤

ABC粉末消火薬剤の主成分は、常に純水だけである。【29】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。ABC粉末消火薬剤には、リン酸アンモニウム系の薬剤が用いられる。

要点：消火薬剤

Q030 4択 | 消火薬剤

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認30）

1. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
2. BC粉末消火薬剤は、普通火災だけに適応し油火災には使えない。
3. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
4. BC粉末消火薬剤は、油火災・電気火災への適応を中心に考える。

答え・解説

正答：4. BC粉末消火薬剤は、油火災・電気火災への適応を中心に考える。

解説：BC粉末はB・C火災への適応が中心。

要点：消火薬剤

Q031 ○ × | CO2

二酸化炭素消火器は、主に窒息作用により消火する。【31】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：二酸化炭素は酸素濃度を下げる窒息作用が中心。

要点：CO2

Q032 ○ × | 水系

水系消火薬剤は、油面を必ず安全に覆うため油火災専用である。【32】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。水系消火薬剤は、主に冷却作用により普通火災に有効である。

要点：水系

Q033 4択 | 泡

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認33）

1. 泡消火薬剤は、炎を検知して受信機へ火災信号を送る薬剤である。
2. 泡消火薬剤は、燃焼面を覆って空気を遮断する窒息効果を期待できる。
3. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
4. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。

答え・解説

正答：2. 泡消火薬剤は、燃焼面を覆って空気を遮断する窒息効果を期待できる。

解説：泡は燃焼面を覆い、可燃性蒸気の発生を抑える。

要点：泡

Q034 ○ × | 薬剤選定

消火薬剤の選定では、適応火災、設置場所、使用後の影響などを考慮する。【34】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：薬剤ごとに適応火災や特徴が異なる。

要点：薬剤選定

Q035 ○ × | 粉末

粉末消火薬剤は、可燃物を発熱させて燃焼を促進する薬剤である。【35】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。粉末消火薬剤は、火災の化学反応を抑制する効果を期待できる。

要点：粉末

Q036 4択 | 加圧方式

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認36）

1. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 消火器の加圧方式には、蓄圧式と加圧式がある。
4. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。

答え・解説

正答：3. 消火器の加圧方式には、蓄圧式と加圧式がある。

解説：代表的な方式として蓄圧式と加圧式を区別する。

要点：加圧方式

Q037 ○× | A火災

普通火災は、木材・紙・繊維などが燃える火災をいう。【37】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：普通火災はA火災として扱われる。

要点：A火災

Q038 ○× | B火災

油火災は、木材や紙だけが燃える火災をいう。【38】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。油火災は、引火性液体や油脂類などが燃える火災をいう。

要点：B火災

Q039 4択 | C火災

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認39）

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
3. 電気火災は、通電中の電気設備・電気器具などに関係する火災をいう。
4. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。

答え・解説

正答：3. 電気火災は、通電中の電気設備・電気器具などに関係する火災をいう。

解説：電気火災はC火災として扱われる。

要点：C火災

Q040 ○× | ABC粉末

ABC粉末消火器は、普通火災・油火災・電気火災に広く適応する。【40】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：ABC粉末はA・B・C火災に対応する代表的な薬剤。

要点：ABC粉末

Q041 ○ × | 消火薬剤

ABC粉末消火薬剤の主成分は、常に純水だけである。【41】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。ABC粉末消火薬剤には、リン酸アンモニウム系の薬剤が用いられる。

要点：消火薬剤

Q042 4択 | 消火薬剤

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認42）

1. BC粉末消火薬剤は、普通火災だけに適応し油火災には使えない。
2. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
3. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
4. BC粉末消火薬剤は、油火災・電気火災への適応を中心に考える。

答え・解説

正答：4. BC粉末消火薬剤は、油火災・電気火災への適応を中心に考える。

解説：BC粉末はB・C火災への適応が中心。

要点：消火薬剤

Q043 ○ × | CO2

二酸化炭素消火器は、主に窒息作用により消火する。【43】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：二酸化炭素は酸素濃度を下げる窒息作用が中心。

要点：CO2

Q044 ○ × | 水系

水系消火薬剤は、油面を必ず安全に覆うため油火災専用である。【44】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。水系消火薬剤は、主に冷却作用により普通火災に有効である。

要点：水系

Q045 4択 | 泡

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認45）

1. 泡消火薬剤は、燃焼面を覆って空気を遮断する窒息効果を期待できる。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
4. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。

答え・解説

正答：1. 泡消火薬剤は、燃焼面を覆って空気を遮断する窒息効果を期待できる。

解説：泡は燃焼面を覆い、可燃性蒸気の発生を抑える。

要点：泡

Q046 ○ × | 薬剤選定

消火薬剤の選定では、適応火災、設置場所、使用後の影響などを考慮する。
【46】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：薬剤ごとに適応火災や特徴が異なる。

要点：薬剤選定

Q047 ○ × | 粉末

粉末消火薬剤は、可燃物を発熱させて燃焼を促進する薬剤である。【47】
この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。粉末消火薬剤は、火災の化学反応を抑制する効果を期待できる。

要点：粉末

Q048 4択 | 加圧方式

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認48）

1. 消火器の加圧方式は、自然落下式だけである。
2. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
3. 消火器の加圧方式には、蓄圧式と加圧式がある。
4. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。

答え・解説

正答：3. 消火器の加圧方式には、蓄圧式と加圧式がある。

解説：代表的な方式として蓄圧式と加圧式を区別する。

要点：加圧方式

Q049 ○ × | A火災

普通火災は、木材・紙・繊維などが燃える火災をいう。【49】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：普通火災はA火災として扱われる。

要点：A火災

Q050 ○ × | B火災

油火災は、木材や紙だけが燃える火災をいう。【50】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。油火災は、引火性液体や油脂類などが燃える火災をいう。

要点：B火災

Q051 4択 | C火災

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認51）

1. 電気火災は、油脂類だけが燃える火災をいう。
2. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
3. 電気火災は、通電中の電気設備・電気器具などに関係する火災をいう。
4. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。

答え・解説

正答：3. 電気火災は、通電中の電気設備・電気器具などに関係する火災をいう。

解説：電気火災はC火災として扱われる。

要点：C火災

Q052 ○× | ABC粉末

ABC粉末消火器は、普通火災・油火災・電気火災に広く適応する。【52】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：ABC粉末はA・B・C火災に対応する代表的な薬剤。

要点：ABC粉末

Q053 ○× | 消火薬剤

ABC粉末消火薬剤の主成分は、常に純水だけである。【53】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。ABC粉末消火薬剤には、リン酸アンモニウム系の薬剤が用いられる。

要点：消火薬剤

Q054 4択 | 消火薬剤

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認54）

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. BC粉末消火薬剤は、油火災・電気火災への適応を中心に考える。
4. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。

答え・解説

正答：3. BC粉末消火薬剤は、油火災・電気火災への適応を中心に考える。

解説：BC粉末はB・C火災への適応が中心。

要点：消火薬剤

Q055 ○× | CO2

二酸化炭素消火器は、主に窒息作用により消火する。【55】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：二酸化炭素は酸素濃度を下げる窒息作用が中心。

要点：CO2

Q056 ○ × | 水系

水系消火薬剤は、油面を必ず安全に覆うため油火災専用である。【56】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。水系消火薬剤は、主に冷却作用により普通火災に有効である。

要点：水系

Q057 4択 | 泡

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認57）

1. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
2. 泡消火薬剤は、燃焼面を覆って空気を遮断する窒息効果を期待できる。
3. 泡消火薬剤は、炎を検知して受信機へ火災信号を送る薬剤である。
4. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。

答え・解説

正答：2. 泡消火薬剤は、燃焼面を覆って空気を遮断する窒息効果を期待できる。

解説：泡は燃焼面を覆い、可燃性蒸気の発生を抑える。

要点：泡

Q058 ○ × | 薬剤選定

消火薬剤の選定では、適応火災、設置場所、使用後の影響などを考慮する。【58】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：薬剤ごとに適応火災や特徴が異なる。

要点：薬剤選定

Q059 ○ × | 粉末

粉末消火薬剤は、可燃物を発熱させて燃焼を促進する薬剤である。【59】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。粉末消火薬剤は、火災の化学反応を抑制する効果を期待できる。

要点：粉末

Q060 4択 | 加圧方式

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認60）

1. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
4. 消火器の加圧方式には、蓄圧式と加圧式がある。

答え・解説

正答：4. 消火器の加圧方式には、蓄圧式と加圧式がある。

解説：代表的な方式として蓄圧式と加圧式を区別する。

要点：加圧方式

Q061 ○ × | A火災

普通火災は、木材・紙・繊維などが燃える火災をいう。【61】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：普通火災はA火災として扱われる。

要点：A火災

Q062 ○ × | B火災

油火災は、木材や紙だけが燃える火災をいう。【62】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。油火災は、引火性液体や油脂類などが燃える火災をいう。

要点：B火災

Q063 4択 | C火災

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認63）

1. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
4. 電気火災は、通電中の電気設備・電気器具などに関係する火災をいう。

答え・解説

正答：4. 電気火災は、通電中の電気設備・電気器具などに関係する火災をいう。

解説：電気火災はC火災として扱われる。

要点：C火災

Q064 ○ × | ABC粉末

ABC粉末消火器は、普通火災・油火災・電気火災に広く適応する。【64】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：ABC粉末はA・B・C火災に対応する代表的な薬剤。

要点：ABC粉末

Q065 ○ × | 消火薬剤

ABC粉末消火薬剤の主成分は、常に純水だけである。【65】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。ABC粉末消火薬剤には、リン酸アンモニウム系の薬剤が用いられる。

要点：消火薬剤

Q066 4択 | 消火薬剤

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認66）

1. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
2. BC粉末消火薬剤は、普通火災だけに適応し油火災には使えない。
3. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
4. BC粉末消火薬剤は、油火災・電気火災への適応を中心に考える。

答え・解説

正答：4. BC粉末消火薬剤は、油火災・電気火災への適応を中心に考える。

解説：BC粉末はB・C火災への適応が中心。

要点：消火薬剤

Q067 ○× | CO2

二酸化炭素消火器は、主に窒息作用により消火する。【67】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：二酸化炭素は酸素濃度を下げる窒息作用が中心。

要点：CO2

Q068 ○× | 水系

水系消火薬剤は、油面を必ず安全に覆うため油火災専用である。【68】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。水系消火薬剤は、主に冷却作用により普通火災に有効である。

要点：水系

Q069 4択 | 泡

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認69）

1. 泡消火薬剤は、燃焼面を覆って空気を遮断する窒息効果を期待できる。
2. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
3. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
4. 泡消火薬剤は、炎を検知して受信機へ火災信号を送る薬剤である。

答え・解説

正答：1. 泡消火薬剤は、燃焼面を覆って空気を遮断する窒息効果を期待できる。

解説：泡は燃焼面を覆い、可燃性蒸気の発生を抑える。

要点：泡

Q070 ○× | 薬剤選定

消火薬剤の選定では、適応火災、設置場所、使用後の影響などを考慮する。【70】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：薬剤ごとに適応火災や特徴が異なる。

要点：薬剤選定

Q071 ○ × | 本体容器

本体容器は、消火薬剤を収容し、内圧に耐える消火器の主要な容器部分。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：本体容器は腐食・へこみなどの確認が重要。

要点：本体容器

Q072 ○ × | 安全栓

安全栓は、圧力を数値で表示する計器。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。安全栓は、誤ってレバーが作動しないように保持する部品。

要点：安全栓

Q073 4択 | レバー

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（類似論点確認 2）

1. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
2. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
3. レバーは、操作するとバルブを開き、消火薬剤の放射を開始する操作部。
4. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。

答え・解説

正答：3. レバーは、操作するとバルブを開き、消火薬剤の放射を開始する操作部。

解説：レバー操作により放射が始まる。

要点：レバー

Q074 4択 | ホース

次の説明に当てはまる用語はどれか。
本体からノズルまで消火薬剤を導く柔軟な管。（類似論点確認 2）

1. 加圧式消火器
2. ホース
3. 本体容器
4. サイホン管

答え・解説

正答：2. ホース

解説：ホースの亀裂・詰まりは放射不良につながる。

要点：ホース

Q075 ○ × | ノズル

ノズルは、消火薬剤を火元へ向けて放射する先端部。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：ノズルの詰まりや破損は放射に影響する。

要点：ノズル

Q076 ○ × | 圧力指示計

圧力指示計は、消火薬剤の色を変える薬品。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。圧力指示計は、蓄圧式消火器などで内部圧力の状態を示す計器。

要点：圧力指示計

Q077 4択 | サイホン管

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認7）

1. サイホン管は、受信機の地区表示灯。
2. サイホン管は、本体容器内の薬剤をバルブ側へ導く内部管。
3. 受信機の地区表示灯。
4. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。

答え・解説

正答：2. サイホン管は、本体容器内の薬剤をバルブ側へ導く内部管。

解説：内部の薬剤を吸い上げる経路に関わる。

要点：サイホン管

Q078 4択 | 加圧式

次の説明に当てはまる用語はどれか。
加圧式消火器で、使用時に本体容器内を加圧するためのガスを収める容器。
（類似論点確認 2）

1. 圧力指示計
2. 加圧用ガス容器
3. 蓄圧式消火器
4. レバー

答え・解説

正答：2. 加圧用ガス容器

解説：加圧式では操作時にガスで薬剤を押し出す。

要点：加圧式

Q079 ○ × | 蓄圧式

蓄圧式消火器は、本体容器内に消火薬剤と圧力源があらかじめ蓄えられている方式の消火器。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：蓄圧式は圧力指示計で圧力状態を確認できるものが多い。

要点：蓄圧式

Q080 ○ × | 加圧式

加圧式消火器は、煙感知器で火災を検知する警報設備。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。加圧式消火器は、使用時に加圧用ガス容器などから本体容器内を加圧して放射する方式の消火器。

要点：加圧式

Q081 4択 | 安全栓

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認11）

1. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
2. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
3. 消火器の安全栓は、誤操作による放射を防ぐ役割をもつ。
4. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。

答え・解説

正答：3. 消火器の安全栓は、誤操作による放射を防ぐ役割をもつ。

解説：安全栓はレバーの不用意な作動を防ぐ部品。

要点：安全栓

Q082 4択 | ホース / ノズル

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認12）（類似論点確認2）

1. 消火器のホースやノズルに詰まり・亀裂があると、正常な放射が妨げられる。
2. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
3. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
4. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。

答え・解説

正答：1. 消火器のホースやノズルに詰まり・亀裂があると、正常な放射が妨げられる。

解説：薬剤の通り道の不良は放射不良につながる。

要点：ホース / ノズル

Q083 ○× | 蓄圧式

蓄圧式消火器は、本体容器内に圧力が蓄えられている方式である。この記述は正しいか。（類似論点確認3）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：蓄圧式は容器内の圧力で薬剤を放射する。

要点：蓄圧式

Q084 ○× | 加圧式

加圧式消火器は、圧力を一切使わず薬剤を自然落下させる。この記述は正しいか。（類似論点確認3）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。加圧式消火器は、使用時に加圧用ガス容器などで本体容器内を加圧する。

要点：加圧式

Q085 4択 | 圧力指示計

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認15）（類似論点確認2）

1. 圧力指示計は、消火薬剤の色を変えて適応火災を判定する装置である。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 圧力指示計は、蓄圧式消火器などの内部圧力状態を確認するために用いられる。
4. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。

答え・解説

正答：3. 圧力指示計は、蓄圧式消火器などの内部圧力状態を確認するために用いられる。

解説：圧力指示計の指針位置は点検上重要。

要点：圧力指示計

Q086 4択 | 本体容器

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認16）

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 消火器本体容器の著しい腐食や変形は、強度や安全性に関わる重要な不良である。
3. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
4. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。

答え・解説

正答：2. 消火器本体容器の著しい腐食や変形は、強度や安全性に関わる重要な不良である。

解説：容器の腐食・へこみは破裂や放射不良のリスクにつながる。

要点：本体容器

Q087 ○× | 使用済み

使用済みの消火器は、再充填や交換などの整備対象になる。この記述は正しいか。（類似論点確認2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：使用後は薬剤量・圧力などが正常でないため整備が必要。

要点：使用済み

Q088 ○× | 表示

消火器の表示は装飾目的だけで、点検や使用には関係しない。この記述は正しいか。（類似論点確認2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の表示では、適応火災や使用方法を確認できる。

要点：表示

Q089 4択 | 設置

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認19）

1. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
2. 消火器は、必要時にすぐ取り出せる場所に設置されていることが重要である。
3. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
4. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。

答え・解説

正答：2. 消火器は、必要時にすぐ取り出せる場所に設置されていることが重要である。

解説：初期消火用のため、視認性と取り出しやすさが重要。

要点：設置

Q090 4択 | 封印

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認20）

1. 封印の破損は、点検上まったく確認する必要がない。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
4. 消火器の封印が破れている場合、使用済みや不正操作の可能性を確認する。

答え・解説

正答：4. 消火器の封印が破れている場合、使用済みや不正操作の可能性を確認する。

解説：封印状態は未使用性や操作状態の確認に関係する。

要点：封印

Q091 ○ × | 本体容器

本体容器は、消火薬剤を収容し、内圧に耐える消火器の主要な容器部分。
【21】この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：本体容器は腐食・へこみなどの確認が重要。

要点：本体容器

Q092 ○ × | 安全栓

安全栓は、圧力を数値で表示する計器。【22】この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。安全栓は、誤ってレバーが作動しないように保持する部品。

要点：安全栓

Q093 4択 | レバー

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。（確認23）

1. レバーは、操作するとバルブを開き、消火薬剤の放射を開始する操作部。
2. レバーは、薬剤の種類を色だけで判定する札。
3. 薬剤の種類を色だけで判定する札。
4. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。

答え・解説

正答：1. レバーは、操作するとバルブを開き、消火薬剤の放射を開始する操作部。

解説：レバー操作により放射が始まる。

要点：レバー

Q094 4択 | ホース

次の説明に当てはまる用語はどれか。
本体からノズルまで消火薬剤を導く柔軟な管。（確認24）（類似論点確認 2）

1. 本体容器
2. ホース
3. 加圧式消火器
4. ノズル

答え・解説

正答：2. ホース

解説：ホースの亀裂・詰まりは放射不良につながる。

要点：ホース

Q095 ○ × | ノズル

ノズルは、消火薬剤を火元へ向けて放射する先端部。【25】この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：ノズルの詰まりや破損は放射に影響する。

要点：ノズル

Q096 ○ × | 圧力指示計

圧力指示計は、消火薬剤の色を変える薬品。【26】この記述は正しいか。
(類似論点確認 2)

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。圧力指示計は、蓄圧式消火器などで内部圧力の状態を示す計器。

要点：圧力指示計

Q097 4択 | サイホン管

消火薬剤・加圧方式について、正しい記述はどれか。(確認27)(類似論点確認 2)

1. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 消火器を壁に固定する標識板。
4. サイホン管は、本体容器内の薬剤をバルブ側へ導く内部管。

答え・解説

正答：4. サイホン管は、本体容器内の薬剤をバルブ側へ導く内部管。

解説：内部の薬剤を吸い上げる経路に関わる。

要点：サイホン管

Q098 4択 | 加圧式

次の説明に当てはまる用語はどれか。
加圧式消火器で、使用時に本体容器内を加圧するためのガスを収める容器。
(確認28)(類似論点確認 2)

1. 加圧用ガス容器
2. レバー
3. ノズル
4. ホース

答え・解説

正答：1. 加圧用ガス容器

解説：加圧式では操作時にガスで薬剤を押し出す。

要点：加圧式

Q099 ○ × | 蓄圧式

蓄圧式消火器は、本体容器内に消火薬剤と圧力源があらかじめ蓄えられている方式の消火器。【29】この記述は正しいか。(類似論点確認 2)

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：蓄圧式は圧力指示計で圧力状態を確認できるものが多い。

要点：蓄圧式

Q100 ○ × | 加圧式

加圧式消火器は、煙感知器で火災を検知する警報設備。【30】この記述は正しいか。(類似論点確認 2)

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。加圧式消火器は、使用時に加圧用ガス容器などから本体容器内を加圧して放射する方式の消火器。

要点：加圧式